

特集

# 赤い羽根共同募金

## 募金運動の開始

今年も「じぶんの町を良くするしくみ」をキヤッチフレーズに、10月1日から赤い羽根共同募金運動が行われています。

1947（昭和22）年に、「国民たすけあい運動」として始まった

共同募金運動は、70年を越えて、多くの方に支えられてきました。

当初は、戦後復興の一助として、民間社会福祉施設等の復旧に大きな役割を果たしましたが、時代とともに使いみちを変え、現在では、住民にとって暮らしやすい福祉の充実した地域づくりを進めることを目的に、地域の生活課題等に役立てられています。

全国的には、募金の約7割が集

めた地域の福祉活動に使われ、約3割が広域の課題解決や県域を越えた災害支援活動に使われていますが、本県の状況を見ますと、毎年募金額の約8割が地域での福祉活動に使われています。

また、募金実績においては、1世帯当たりの平均寄付額が、毎年、島根県に続いて全国第2位の実績を誇っており、寄付に対する県民の意識の高さや、地域福祉活動が活発に行われている本県の状況を垣間見ることができます。



一日募金ボランティアと園児による募金協力のよびかけ



運動開始セレモニーで風船を受け取る児童達



一日募金ボランティアに任命された鉄神ガントライザーと寄付者



## 平成30年度の募金目標額

# 3億7,752万円

赤い羽根募金  
2億3,158万円  
歳末たすけあい募金  
1億4,594万円

災害対策に 1,232万円

- ①火災等による被災世帯への見舞金 100万円
- ②大規模災害時の支援活動に向けた積立て 1,132万円

歳末たすけあい助成として  
一人暮らし高齢者や障がい者、要保護児童等への  
激励金、冬季間の地域交流事業、その他の地域福祉活動  
1億4,013万円

各市町村で助成内容が  
異なります

県内の共同募金運動を  
推進するために  
6,593万円

\*募金目標額と使いみちの差額については  
配当予備金を充当します

## 募金の使いみち

社会福祉施設の整備に 1,013万円  
建物修繕、車両・機器整備等



地域の福祉活動に  
1億5,723万円

- ①社会福祉協議会等の活動  
高齢者・障がい者・児童・子育て家庭の支援、その他住民を支える活動(被災者・生活困窮者支援等)  
1億4,782万円
- ②地域の生活課題を解決する  
NPO団体等の活動  
341万円
- ③ボランティア団体、町内会等の  
福祉のまちづくり活動  
600万円



# 募金目標額と使いみち

共同募金は、事前に使いみちや  
集める額を定め、計画を立てて行  
う募金です。

地域の社会福祉協議会、福祉団

体、ボランティア団体等、様々な民  
間福祉団体からの助成要望を受け  
て、あらかじめ「使いみちの計画(助  
成計画)」を立て、計画の実現に向  
けて必要な額を「募金目標額」とし

て、募金活動を展開します。

各市町村共同募金委員会におい

ては、それぞれの地域の募金目標  
額を達成するために必要な額を  
「目安額」として、各世帯に募金  
額を達成するための目標額とし  
て、いみちは、上の図のとおりです。  
本県の今年度の募金目標額と使  
いみちは、上の図のとおりです。  
今年度も、全ての方々が安心し  
て暮らせるまちづくりを目指し募  
金運動に取り組んでいきますので、  
皆様の温かいご支援、ご協力をお



寄付つき飲料販売による共同募金運動へ協力いただいた(株)ベルジョイス、  
サントリーフーズ(株)に感謝状が贈られました。



# 県共同募金会の実施事業

## ○あつたかいわでプロジェクト～地域みまもり応援募金～

### 「平成31年度生活課題解決支援事業」採択団体・事業

#### ○ NPO法人もりおかユースポート

事業名	アウトリーチを取り入れた包括的ひきこもり支援事業
解決したい課題	「ひきこもり」という、防衛的な生活段階から抜け出せず、社会的孤立状態という生きづらさを抱える本人と、その受け止めに苦慮しながら、適切な支援につながらない家族が多数存在している状況
活動内容	居場所・相談室の運営、アウトリーチ型支援、家族教室・当事者グループの実施、関連機関との連携コーディネート等
目標額	1,418,000円

岩手県共同募金会では、平成31年1月1日から3月31日まで、「あつたかいわでプロジェクト～地域みまもり応援募金～」を実施します。

この募金は、本会の「生活課題解決支援事業」（公募事業）に採択された団体が、課題解決の必要

性や団体の活動を自らアピールして募金活動を行い、寄付者が応援したい団体や解決したいテーマを選択して募金する、テーマ型募金の取組です。

今年度は、次の2団体が運動を展開します。皆様のご協力を願いします。

この募金による寄付金は、県内の児童養護施設に入所する若者等の進学・就職支援金や、乳児院の遊具・備品購入資金等として活用されます。

本会では、本募金運動の一環として、「赤い羽根ピンバッジ」による職域（職場）募金を実施します。これは、期間中、施設、団体等内で従業員による募金にご協力いただき、その中で500円以上募金いただいた方に、ピンバッジを1個進呈するものです。

詳しくは、岩手県共同募金会ホームページの「お知らせ」に情報をお掲載しますので、施設、団体等内の募金にご協力いただける場合は、岩手県共同募金会（TEL 019-637-8889）までお知らせください。

なお、各市町村共同募金委員会においては、平成30年12月1日から12月31日まで、「地域歳末たすけあい運動」を実施します。それについては、お住まいの市町村共同募金委員会（市町村社会福祉協議会内）までお問合せください。

## ○岩手県歳末たすけあい運動



# 赤い羽根ピンバッジ

全7種類(数に限りがあります)



500円以上の募金に対し記念品として差し上げています



●利用者の送迎や授産事業の配達に使用する車を更新しました。早速乗って販売に行きましたが、スライドドアが閉めやすく、乗り心地が良かったです。私たちの施設に新しい車がきて、とてもうれしいです。(陸前高田市)



●私たちは、児童施設、高齢者施設等でおはなし会を行っています。助成金で楽器や紙芝居の舞台を購入でき、おかげさまで、いろいろなプログラムを皆さんに楽しんでもらえるようになりました。これからも、楽しい時間を多くの方にお届けしていきたいと思います。(盛岡市)



●いきいきサロンで、高齢者の仲間づくり・生きがいづくりや、介護予防に取り組んでいます。スカットボールを新たに導入しましたが、気軽に無理なく身体を動かすことができるので、大いに活用しています。これからも活動を継続し、引きこもりや老化の防止につなげたいです。(滝沢市)



●民謡や踊りによる仮設・復興公営住宅、高齢者施設等の訪問ボランティアを行っています。助成金でワイヤレスレシーバーや和太鼓の台を購入し、高齢の会員の負担を軽減することができました。訪問先の皆さんと、お互いに元気をもらながら頑張っています。(釜石市)

赤い羽根共同募金は、高齢者への配食サービスやふれあいサロン、障がい者の送迎サービスや就労に必要な環境整備、子育てサロンや育児等の相談事業、地域のみまもり支援や孤立防止活動など、様々な福祉活動に使われています。

平成29年度に助成事業を実施した団体から、寄付者へのメッセージが届きましたので、一部ご紹介します。

助成先からの“ありがとう”メッセージ



※ このほかのメッセージは、岩手県共同募金会のホームページ(<http://www.akaihane-iwate.or.jp/>)でご覧いただくことができます。